

横浜市退職小学校校長会



第71号

令和5年8月22日
横浜市退職小学校校長会
会長 加納 多嘉美

ホームページアドレス



巻頭言

高齢者免許更新

会長 加納 多嘉美

車の免許更新手続きを先日、済ませました。75歳以上は認知機能検査や適性検査、実車技能測定が必要と分かり、慌てて先輩に連絡。資料やPC情報を頂きました。おかげ様で、事前に16枚のイラストを四通り、「寿限無」のように唱えて覚え、認知検査は何とか合格。但し、本当の自分はシルバー川柳にあった「歩数計 半分以上は 探し物」に近い状態。にわか暗記イコール認知機能正常となるのかは不明です。また、この検査と運転技能がどう繋がるのかも不思議です。

動体視力等の衰えは痛いほどでした。レバー操作が理解の瞬間とずれることも自覚

きました。高齢者事故の映像が延々と流れ、自主返納方法まで説明され、気が沈みます。技能では「段差乗り上げ」を失敗。「アクセルをもっと踏み込んでください。」

「はい。」(やっていますよ) 思い切り突進、じゃーんと暖簾棒を鳴らして停止。教官のマスク顔が苦笑いでした。それでも好きな運転は続けたいのです。社会で高齢者ドライバーが危険視されることや家族の「大丈夫なの？」の声も承知の上です。

車は年々進化し、安全運転し易くなっています。行きたいところに行きたいのです。限界を自分で納得するまで、

「高齢者ドライバー」でいたいと思うのです。

このような私に大きな勇気を与えて下さるのは、横浜市退職小学校校長会の皆様の多様な生き方です。ある種の緊張感を持ちながら、支え合い楽しむ余裕のある力強さです。これまでにも多くのご助言を頂き、指針として参りました。

会報からも、日常生活の中の豊かで味わい深い想いや意識が伝わってきます。「育む」ことの専門家たちから寄せられる「お心」に触れられるのが会報です。

知恵と希望の世界を構築して下さる会員の皆様方に深く感謝申し上げます。令和五年度の会長挨拶とさせていただきます。

時の流れに身をまかせ

佐藤 裕洋

会報が届く。最近、気になるのが敬弔欄だ。嘗て共にした仲間の氏名が漸次ふえてくる。折しもコロナ禍で顔を合わせる機会が少なかったので、ひとしおである。人生百歳時代といわれるが、それも元気で健康であること。体力気力が衰えてくるこの頃、外出の折もエスカレーター、車等をなるべく使わず、階段を上り、歩くように努めている。

健康第一、医者いらずだ……。

せめて背筋を伸ばそう

吉原 美紗恵

四月に薬師寺東塔の落慶法要が、五日間に亘り、盛大に行われた。十数年の写経支援で私共も招待され参加できた。

二日目の献茶は、裏千家の千宗室宗匠。間近で拝見できたその動きに魅了、圧倒された。

階段の上り下り、お点前の流れるような所作、伸びた背筋、正座からスッと立ち上がるゆるぎない動き――数日前に百歳になられたばかり。ただただ驚くばかりであった。

年をとるといふこと
この年でもできること

平林 静子

○いつまでも元氣なつもり、それはウソ。思うは自分だけ。○体はそれなりに動けなくな

る。○同じ姿勢は筋肉が固まる。○立った時、すぐに歩けない。でも、マイナスなことばかりではない。自分のやりたいことができる時間がある。体調に合わせて活動すれば、想像を広げ

色や形のイメージを創造できる。それを表現する楽しさを大切にしていきたい。

楽しみは

堀井 佳一

平蔵、梅安、小兵衛、警音、空也、政次、総兵衛、市兵衛、右近等々、これらの名前をみてすぐに登場人物を思い出す方々は、まさに時代小説のマニアの方々でしょう。江戸の町々を人情と剣で縦横無尽に駆け回っています。その時代に生きていた様々な人々の生活を追いかけていくことでどんどん深みにはまっています。その楽しさは格別です。

